

広徳寺通信

LETTER FROM KOUTOKUJI TEMPLE

64

2016年夏号



夏のお寺の様子！

▶ 梅花講全道大会に行ってきました！
6月3日（金）から一泊二日で洞爺湖で開催された梅花講の全道大会に行ってきました！新しくお勤めにいられた一期さんもお唱えしましたよ！

▶ 境内地に砂利を敷きました！
冬の雪かきで減っていた境内の砂利を敷きなおしましたよ！晴れている日は真っ白に見えてなかなか綺麗になりました。

▶ 寺こや自然塾が開催されます！
今年で7回目となります寺こや自然塾が7月3日（日）に開催されます！小学生がお寺に集まって坐禅や掃除をがんばりますよ！

あっという間に今年も半分が過ぎました。これからお寺もお盆に向けて忙しくなりそうです。今年の寺こや自然塾では、小学生と一緒にべこ餅作りを婦人会の方々がしてくれる予定になっています！楽しみです。

夏のお寺の行事予定

▶ 梅花流詠讃歌
毎週土曜日 午後1時半～3時半
毎週の練習会の他に、講習会や検定会、大会に参加します。

▶ 写経
毎月第2日曜日 午後3時～4時
筆をもって心静かにシャンとする。
7月10日（日）・9月11日（日）

▶ 婦人会
毎週火曜日 午前9時半～11時半
お寺参りのお手伝いの他、毎週火曜に手芸などのお楽しみ会を開催。成年会との懇親会（温泉）や忘年会もありますよ。

▶ 朝ヨガ
毎月第3木曜日 朝5時45分～6時45分
朝のひとときをお寺で過ごしませんか？
7月21日（木）・8月25日（木）

▶ 坐禅
毎月第3日曜日 午後4時～5時
たまにはリンと背筋を伸ばしてすわりましょう。心が改まります。
7月16日（日）・9月18日（日）

tel 0138-73-2032

※ 日程が変更することがあります。事前にお問い合わせください。
※ 気軽に手ぶらでお越しください。

お寺の庭より - お寺の日々をつれづれに

早いもので、息子が幼稚園に通い始めて3ヶ月。初めての園生活、親から離れちゃんと社会に馴染めるのか心配しましたが、母の知らないお友達の名前を教えてくれ、毎日楽しく通う後ろ姿を見ていると、たくましくもありちょっと切なくもあり…。子供ってあっという間に親の手を離れてしまうんだと、じん、としてしまいます。妹君はますますやんちゃ度が増し、こちら知らない間にあれやこれや出来ることが増えている…。では私は？と少し置いてきぼりな気分になってしまいます。今までは育児を理由に、今は無理と後回しにしてきましたが…先日久々に参加した梅花の講習会で教えていただいた「そのうち」という詩にもドキリ。今が本番。出来ることを毎日少しずつ。後回しはやめにして、断捨離と毎日10分のお勉

強！母も急成長中の子供に負けないぞー！笑

そのうち 相田みつを
そのうち お金かたまったら
そのうち 家でも建てたら
そのうち 子供から手が放れたら
そのうち 仕事が落ち着いたら
そのうち 時間のゆとりができたら
そのうち・・・
そのうち・・・
そのうち・・・と、
できない理由をくりかえしているうちに
結局は何もやらなかった
空しい人生に幕が下りて
頭の上に淋しい墓標が立つ
そのうち そのうち
日が暮れる
いまきたこの道
かえれない

寺族 高橋佑実

▶ 仏事 Q&A ー 仏教や仏事についてのご質問にお答えします。

Q 禅宗でも南無妙法蓮華経ってお唱えするの？

禅 宗（曹洞宗）では南無妙法蓮華経（ナムミョウホウレンゲキョウ・ナンミョーホーレンゲキョウ）とはお唱えしません。そのようにお唱えするのは日蓮宗です。曹洞宗では「南無釈迦牟尼仏（ナムシャカムニブツ）」とお唱えし、お釈迦様の生き方、み教えに礼拝いたします。ちなみに、「南無阿弥陀（ナムアマダブツ・ナンマイダー）」とお唱えするのは浄土宗・浄土真宗の方々です。

POINT

曹洞宗では「南無妙法蓮華経」とはお唱えしません。「南無釈迦牟尼仏」とお唱えします。

▶ ミニミニ法話 ー お檀家さんのおしゃべりで気づいたこと

手を合わせ祈る。思うように体がうごかなくとも。

お 参りが終わって振り返ると、その女性は静かに手を合わせているんです。うつむくようにして、でも目はしっかりこちらを見て。もう 90 を越して体は思うように動かないので、娘さんがそばにいながらなのですが、娘さんの話だと、一日に 3~4 回はお仏壇に向かうのだそうです。ふるえる手で口ソクを二本立てて、そしてマッチをする仕草をして、そしてしばらく手を合わせて座っているのだそう。体が思うようにならなくても、祈る。祈らざるを得ない、その女性に仏の姿を見たような気がしました。

▶ コトノハ ヒロバ ー 力をわけてもらえる言葉をあなたに

kotonoha hiroba

人の心はわからないもの。知りたいのに、わかっ
てあげたいのに、知ろうとすればするほど遠の
いていく。水をすくうように、手のひらで器を
作ってあげる。こちらが受け身になることで、
はじめて、相手に寄り添うことができます。

水のこころ
水はつかめません
水はすくうのです
指をびったりつけて
指をおと大切に
二つの手の中に
水はつかめません
水はすくうのです
水はつかめません
水はすくうのです
水のこころ
水のこころ
水のこころ

高田敏子

Toshiko Takada

Q でも、お参りのときに「ナンミョーホーレンゲキョウ」と聞こえた気がします…

南 無（ナム）はつけませんが、「妙法蓮華経（＝法華経ホッケキョウ）」はお唱えします。たぶん、その聞き違いだと思います。曹洞宗でも大切なお経の一つです。「ナム～」とは「～が一番大切です」ということ。日蓮宗さんでは「法華経ホッケキョウ」だけを教えのより所としていますが、曹洞宗では「法華経ホケキョウ」も大切な教えとしてお読みします。ちなみに、曹洞宗では「法華経ホケキョウ」に対して、お唱えすればすご～いことが起きるような霊的な力は求めません。

POINT

曹洞宗では「南無妙法蓮華経」とはお唱えませんが、「妙法蓮華経＝法華経」はお唱えします。

比 叡山の延暦寺は、今で言えばいわば総合大学。曹洞宗や浄土宗、日蓮宗など、鎌倉時代に出てきた 6 つの宗派の開祖は皆、比叡山で修行していました。延暦寺は天台宗、天台宗でも法華経を重んじていたので、日蓮上人と同じように道元禅師様も自然と法華経に親しんでいました。永平寺を開かれた道元禅師様も法華経を「諸経の王」として讃え、著書『正法眼蔵』95 巻の中でも最も多くの引用をしているほどです。また、道元禅師様は息を引き取られる直前、その場の壁に、法華経の一節を書き遺して亡くなったということです。法華経は曹洞宗でも大切なお経の一つなのです。

▶ こんな映画を観ました！

▶ 『海街 diary』

監督：是枝裕和

お 葬式で始まってお葬式で終わる映画。幼い頃に離婚して出て行った父親のお葬式に出た三姉妹が、腹違いの中学生の妹を引き取り四姉妹として生活する様子を日記のように 1 ページ 1 シーンとして描いている物語です。監督の是枝さんには、家族をテーマにした作品が多いですが、この映画もその一つ。父親の死も、母との再会も、梅酒を漬けることも、口げんかすることも、劇的ではなくすべてを日常として描いているのに物語がキラキラしている。全体として物語はゆるやかに流れますが、その底辺に、死ぬということ生きるということ、仏教でいう生死（しょうじ）が静かに横たわっています。特に印象的だったのは、死を目の前にした女性が満開の桜を見て「こんな時でも、美しいものを美しいと思えることが幸せ」というセリフでした。綾瀬はるかや長澤まさみなど女優陣が豪華なのも必見です。

